

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

未来を拓き、心豊かにたくましく生きる力を育む

◇たくましく生きる力を育む＝グリット やり抜く力で真の学力を育成

◇心豊かに生きる力を育む＝グロウス 一人一人の成長を支え、生涯学び続ける力を育成

◇未来を拓く＝グローバル 国際社会で活躍できる人材を育成

＜本年度の学力向上策＞

○27～29年度の学校課題研究で取り組んだアクティブ・ラーニングの視点からの授業改善を継続し、自分の考えを持ち、その考えを説明したり文章に書いたりする活動に取り組んでいく。

○小・中一貫教育として、大宮北中学校の学校課題研究である国語力向上との関連も視野に入れ、自分の考えを伝えるスキルの向上を図っていく。

○アクティブ・ラーニングに関する学校課題研究を進めるにあたり、学校と家庭とが一貫した考えのもと、子どもの考えを引き出していけるよう「北っ子〇〇タイム」という取組を行った。本年度の学校課題研究、開かれた教育課程においても、同じ趣旨のもとで〇〇タイムを実施し、親子の会話を増やし、子どもの話を肯定的にとらえながら更に子どもの考えを引き出していく。

○全国学力学習状況調査の結果から本校の児童の弱点を探り、その点を重点的に振り返っていく。

＜本年度の振り返り＞

○日々の授業でアクティブ・ラーニングを推進するとともに、授業参観・学校公開等の場で自分の考えを説明したり、資料を用いて表したりする活動を積極的に公開した。

○小・中一貫教育の一環として、中学校より美術の作品を借り、校内に掲示した。また、氷川参道清掃を中学生とともに取り組む活動の場として設定した。小・中学校間での連携を深めるべく、より有効な交流の方法を検討している。

○これまでの「北っ子〇〇タイム」に加えて、冬期休業中の問題として新元号に関して出題した。多くの児童のアイデアと、保護者のコメントが寄せられた。また、学校だよりにて校長からのメッセージ内で紹介をし、学校の方針として行う活動であることを強くアピールできた。

○学力学習状況調査で、国語B「書くこと」に課題が見られることがわかった。今後のアクティブ・ラーニングの実践において、文章を用いて表現することをより重視し、改善していきたい。